

2 親子の関係

学級でまたは地区別懇談会で

中学生は、心も体もどんどん成長していくときであり、それに伴って親子の間でも多くのトラブルが発生しがちです。子どもも親との付き合い方に戸惑いを感じているのではないのでしょうか。いまどんなトラブルをかかえているのか、お互いの子育ての体験を語り合うことを通じて、中学生の親としての力を高めたり、親同士で支え合う関係を強めたりしましょう。



1 たとえばこんなトラブルは起こっていませんか。



うちの子は、時々家族を傷つけるような言い方をするようになってきた。この前あんまり目にあまるから注意したら、反対に大きな声でどなり返してきて、もう、手を上げるんじゃないかと思うぐらいの勢いだった。



中学校での様子や勉強のことなど、いろいろたずねるんだけど、返ってくるのは生返事ばかり。しつこくたずねると「うるさいなあ。」とおこってしまふ。受験のこともあるから、いろいろ気になるのに、反対に子どものことがどんどん分からなくなってきた。



このごろ娘がお父さんをさけるようになってきた。お父さんが帰ってきたら、スーッと自分の部屋へ行ってしまう。お父さんから話しかけても気のない返事しかない。この先もっとひどくなりそうで心配。

自分が子育ての中で経験したトラブルや失敗を伝え合いましょう。

2 これまでのわが子との関係をふりかえりましょう。 たとえば、次のようなことはどうでしたか。

- 会話は・・・十分 ある程度してきた やや不足 不足
- 関わり方は・・・過保護 やや過保護 適度 やや淡泊 淡泊

3 自分が中学生だった頃、一番信頼できた大人はだれでしたか。 その人を信頼できたのはなぜだったのでしょうか。

4 話し合ったことを参考にして、 これからの親子関係づくりで大切にしたいことを書きましょう。

子どもは、問題にぶつかった時、頭ごなしに考えや方法を押しつけてくる人よりも、話に耳を傾け、一緒に考えてくれる人を求めています。大人がそのような接し方をすることによって、子どもは問題を乗り越えていく力を伸ばしていきます。不安や不満に包まれていた自分の心を、ふっと楽にしてくれた親や大人との心の通じ合いは、子どもの心の中にいつまでも消えずに働くことでしょう。

POINT